

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和6年1月22日

三田市議会議長 森本 政直 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	
		議員名	檜田 充
派遣者氏名	檜田 充		
視察先及び調査事項(調査目的)	大阪府堺市西区築港新町3-1-23 株式会社ハイドロエッジ・水素発電に対応する水素の製造と活用について		
日 時	令和6年1月16日(火曜日) 14:00~16:00		
視察先対応者	株式会社ハイドロエッジ美澤秀敏社長、櫻木和久工場長、小林剛史事業部長、		
(調査結果の概要及び所見) 別紙も可			
○プラント説明			
1, 空気分離ガスプラント 液化窒素をベースに高圧から低圧の精留塔を使い、アルゴン・酸素・窒素に分離。 各液化状態では窒素は-196℃、酸素-183℃、アルゴン-186℃の沸点差を利用			
2, 液化水素プラント バナジウム触媒で天然ガスと水から改質器・変成器・PSA装置でCO2とH2Oを除去 液化器で-253℃の液化水素を生成・保存・発送している。			
(所見) 地球環境を守る活動の中で注目されている水素事業である。技術や費用の関係もあるが、スピードアップが望まれている。また、環境問題の悪役とされている、二酸化炭素もエネルギーや資源に替える技術も進められている。 民間では着実に技術開発が進められている、国が後押しをすることでさらなる進捗が可能となるのではないかと感じた。 (資料については、美藤議員報告書参照)			

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。